

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 12月 16日

【評価実施概要】

事業所番号	0570108555
法人名	医療法人 久幸会
事業所名	なでしこの家
所在地	秋田県秋田市金足追分字海老穴223番地 (電話) 018-872-1155
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	2008年12月5日

【情報提供票より】 (2008年11月17日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	人	常勤 7人, 非常勤	人, 常勤換算 7人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 準耐火 造り
	2 階建ての 1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	39,900 円	
敷金	有 (円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,500 円			

(4) 利用者の概要 (11月 17日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護 1	1	要介護 2	4			
要介護 3	3	要介護 4	1			
要介護 5			要支援 2			
年齢	平均	85.5 歳	最低	79 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	今村病院・今村記念クリニック・今村記念歯科クリニック
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

2階建てのモダンな造りのホームの前には、大きなベンチが地域の方々の休憩場所として設置され、季節感を味わえる装飾で楽しませてくれています。ホーム内は、備品・設備に高齢者ケアサービスから得たノウハウを随所に活かし、身体面でも軽度の方から重度の方まで、どなたにでも利用ができる、充実した造りとなっています。家庭的な雰囲気の中で、誰もが、生活歴や出来ることを活かし、入居者が主体となって共生できるように、職員は、入居者を尊重され、敬意を持って、接しておられ、明るく活き活きとした言動が随所に観られるホームです。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	前回評価で改善すべき点はありませんでした。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	それぞれの職員が自己評価を行い、管理者によってまとめられています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	2か月に1回、定期的な会議が開催されており、町内会長2名、民生委員、地域包括支援センター管理者、利用者家族、法人代表者等によって構成されています。利用状況や活動状況の報告、避難訓練や地域交流会、健康管理等について話し合わせ、構成員による評価・助言・要望・質疑応答が活発に行われ、更なる理解が深められるように取り組んでおられます。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	苦情のあった場合の体制は整えられており、家族へも契約時や面会時に伝えられ、掲示もされています。また、年に数回、家族同士の交流会を設けられ、情報交換によって、一人では言い出せないことでも、皆さんが一緒になることで言い出しやすいように配慮され、意見等が引き出せるように工夫されています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	町内会に所属され、清掃活動や敬老会等の地域の行事への参加が行われています。また、地域向けにホームだよりも発行され、全戸に配布され、ホーム理解や協力依頼を行っています。さらに、地域交流会を開催し、介護予防に向けた体操やボランティアによる歌の会の開催、昼食会の実施等で交流に努められています。

2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	家庭的な環境と地域住民との交流のもと、豊かな生活が送れるように支援され、福祉の推進を図るよう取り組まれています。		誰にでもわかりやすく、時代の流れに沿い、地域性を盛り込んだ理念の構築が実現されることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関前やスタッフルームに掲示、さらに記録を書く際にも目につくようにされ、理念の共有と実践に向け、見直しや改善について、スタッフ間で話し合いがもたれています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	敷地が2町内にまたがっていることもあり、2つの町内会に加入され、清掃活動や老人会等の行事に参加され、さらに、地域交流会を設け、包括支援センターとの連携で介護予防体操、ボランティアによる歌の会等が行われ、昼食をともにする等の地域交流が図られています。		ホームに面した町内会との交流にさらに力を入れ、多くの方々が地域交流会に参加できる工夫と充実を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	個々の職員が自己評価に取り組み、管理者がまとめられています。また、外部評価を活かし、日々のケアの向上に向け、取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の定期的な運営推進会議が開催され、参加者からは、それぞれの立場での意見をいただき、サービス向上に繋げ、活かせるように努めておられます。		運営推進会議への参加者が少なく、開催日に配慮され、参加率を上げる工夫をされることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とは、直接的な関わりはありませんが、法人企画部を通して申し出る仕組みがとられています。また、地域包括支援センターを通して、意見や要望が伝えられる等、サービスの向上に取り組まれています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	電話や面会時、定期的なホームだより等によって暮らしぶりや健康状態、職員の移動等の報告が行われています。また、金銭管理については、利用料請求時に出納状況を明らかにされています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や苦情相談窓口の掲示、更に普段から話しやすい雰囲気や関係づくりに努められています。さらに、家族交流会を設けられ、一人では言えないことでも、家族と一緒に意見が述べられるような場面を作られる等の工夫もされています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動がある場合は、突然なことにならないようにさりげなく、お別れ会を実施したり、新たに来たスタッフを紹介され、新たな環境を混乱なく作っていけるように配慮されています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修へは、スタッフ間で協力され積極的に参加できるように配慮されています。また、研修内容が業務の中に活かせる取り組みも行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内のグループホームの管理者同士の情報交換や勉強会が行われ、訪問による交流が図られています。また、グループホーム連絡協議会による「おしゃべり会」等に参加され、情報交換でサービスの質の向上に取り組まれています。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学していただき、他の入居者と会話ができるように雰囲気作りをされる等の交流の場を設け、入居後は、個々の状況に応じた対応が行われています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩としての尊敬の念と生活歴から、教わる気持ちを忘れずに、個性や得意なことを活かし、共に支えあい生活できるように関係づくりの構築が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	話しやすい雰囲気作り、環境作りに配慮され、入居者の思いや意向の把握に努められています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	生活歴やアセスメントによって、入居者個々の状況を把握され、カンファレンスによって本人・家族の意向を反映した、入居者本位の介護計画書が作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月の定期的な目標期間を設け、毎月、カンファレンスによって評価が行われています。また、必要時、見直しが行われ、現状に即して新たな介護計画が作成されています。		モニタリング・評価の記載方法に工夫されることを期待します。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者や家族の状況等によって、受診の付添い、冠婚葬祭、帰省等、必要としていることについての対応が、柔軟に行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医や緊急時の搬送先の聞き取り、協力医療機関の説明等によって、希望や病状に応じた病院の受診ができるように、職員付き添いの下、支援が行われています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居契約時に説明と話し合いが行われ、また、受診時にも主治医から終末期ケアの在り方について相談員を介して、家族等から意向を伺い、話し合いが行われています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々の状況に合わせた言葉かけや姿勢を大切に誇りやプライバシーを損ねることなく、対応され、個人情報の取り扱いにも十分に配慮されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人が生活している上で、状況から見えて来る部分があり、本人が一番楽に感じられるようにペースを大切にされています。また、孤立することのないように配慮されています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が一番の楽しみという入居者と共に、状態に配慮した形態や盛り付けが行われ、そのための準備や後片付けが入居者と共に行われています。また、食事時は、会話を楽しみ、ペースを守りながらの支援が行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	入浴は毎日でも可能ですが、最低でも週に3回は入っていただけるように、声掛けや健康状態を確認し、楽しんで入浴していただけるように支援されています。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や習慣を大切に、季節毎の行事、レクリエーション等の実施によって、一人ひとりが、役割や趣味、楽しみごとの継続が出来るように支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣の公園への散歩や文化施設の訪問、スーパーへの買い物、同敷地内施設の売店の利用等、その日の希望に沿った外出支援が行われています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解され、玄関にはセンサーを設置され、所在についての確認が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回、同敷地内の精神障害者授産施設の方々と一緒に合同防災訓練が行われています。	○	地域の方々への協力体制等について、積極的に取り組まれ、具現化できることを期待します。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は記録され、個々の状況に応じた栄養指導をいただき、十分に摂れない方には、捕食の準備をされる等の配慮も見られます。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の状況に細部にわたるハード面での配慮が観られ、居心地の良い環境作りが行われております。また、明るく家庭的な雰囲気の中で、季節感が随所に感じられるように装飾され、落ち着き、心地よく過ごせるように配慮されていました。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの家具や寝具等が持ち込まれ、配置にも配慮され、本人が居心地良く過ごせるように工夫されています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。